

WEEKLY

例会場
ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
事務局 豊橋市藤沢町141
ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

RIメッセージ

地区方針

クラブ方針

フランチエスコ・アレッツォ会長

鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

 新たな時代へ 理想の未来への挑戦
 環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第27回(通算1731回)例会報告	令和8年1月30日(金)	フォーラム「職業奉仕」
出席報告	総会員数60名(計算会員数52名) 欠席9名 出席率82.69% 前々回修正出席率90.38%	
歌/会場	R-O-T-A-R-Y	会場:ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間



神谷 馨会長

皆さまこんにちは。今日は職業奉仕フォーラムです。鈴木雅人委員長を始め委員会の皆さまよろしくお願いたします。自社以外の企業との現在の取り組みを話し合う事はロータリーの特権であり大変貴重な体験です。有意義なフォーラムの為、忌憚のない意見交換をよろしくお願いたします。日本の企業が直面している可処分所得が減少していく中で私たちが仕事を通じてどのように社会に貢献し、また自身の職業を発展させていくべきかについて会長として私なりの考えをお話しさせていただきます。

ご承知の通り、日本では物価上昇や社会保障負担の増加などにより「働いても手取りが増えにくい時代」に入っています。これは一時的な現象ではなく今後も続く構造的な変化だと考えられています。

成功のための現状認識と対策について考えてみたいと思います。

【現状認識】

- ・物価上昇(インフレ)
- ・社会保障負担増、安全保障負担増
- ・人口減少による内需縮小
- ・長期的に所得が増えにくい構造が続く

【成功対策】

成功のカギ① 国内平均から抜け出す

- ① 成長している市場に入る
- ② 付加価値が高いポジションにいる
- ③ 価格決定権を持つ

「誰でもできる仕事」「代替が効く仕事」は収入が下がる

成功のカギ② 「問題解決型」の仕事にシフトする

例: 売る人→売れない理由を分析し改善できる人
 作る人→顧客の不満を形に出来る人
 管理する人→人と組織を活かせる人

これから評価されるのは作業ができる人→問題を解決できる人です

成功のカギ③ 単価を上げる努力をする。可処分所得が下がる時代は量ではなく単価

- ・専門性を深める
 - ・業界×別分野(例:製造×IT、医療×データ)
 - ・経験を「言語化」して価値に変える
- 特に日本では経験豊富だが言葉にできていない人が多く、そこに大きなチャンスがある

ご清聴ありがとうございました。

フォーラム「職業奉仕」 —ロータリアンの視点で振り返る—



鬼頭秀幸ラーニング委員長

皆さま、こんにちは、本年度ラーニング委員会委員長の鬼頭です。今日は職業奉仕委員会フォーラムということで、簡単に説明させていただきます。その前に、少し時間を頂いて、私が地区の職業奉仕委員会で学んだことの一つを話します。職業奉仕委員会担当例会にたびたび職場見学会を実施するクラブがあります。確かにロータリアンだからこそ行ける特別な見学場所もありますが、なぜその場所なのか、何をロータリアンとして学べる場所なのか等を目的としたものでなければいけないといったことです。素晴らしい場所で見学できたので単に感動しただけでは、意味がないということです。

当クラブでは、そういったことを踏まえて職場見学会を実施しているので、かなりレベルの高い職場見学会例会だと思います。また、先週の鈴木委員長の卓話も職業奉仕委員会のここ数年引き継がれたことを、しっかりと伝えてくださり、また自分の会社へも反映されているようで、私が地区に出向した時から気にしていたことですので、少しはお役に立てたかなあとと思うと嬉しい限りです。感謝いたします。

さて、今日は先週の鈴木委員長の卓話や昨年の職場見学会例会で感じたこと等をグループディスカッション形式で話し合ってもらおうフォーラムです。フォーラムも、いろんなやり方があるとは思いますが鈴木委員長は、

このやり方が皆さんの発言が聞けて、今後の例会等の参考になると判断されたようです。ディスカッションテーマが違いますし、テーブルメンバーも違うので、新鮮な部分も多々あるかと思います。それでは皆さま、テーマに沿って、楽しく自由な意見を言って、限られた時間を有意義なものにしてください。
よろしくお願ひいたします。

フォーラムリーダー 鈴木雅人職業奉仕委員長



職業奉仕委員会委員長の鈴木雅人です。本日のフォーラムよろしくお願ひします。

フォーラムのテーマは「ロータリアンの視点で振り返る」という事で、次の2点について意見交換やお互いの思いを共有する機会となればと思っております。

一つ目は「今年度の職場見学例会、職業奉仕例会で紹介しました朝日土木興業の取組みや職業奉仕への考え方について感じた事を共有しよう」です

こちらにつきましては、今年度の職業奉仕委員会としては11月の職場見学例会、先週の職業奉仕例会の内容について意見交換をすることで、ただ例会に参加するだけではなく、次につながる何かを見つけれられる機会になればと思っております。

例会に参加出来なかった方に置かれては、過去の職場見学例会、職業奉仕例会にて感じたことや、今後の職業奉仕に関する例会についてのご意見なども頂けると助かります。

2つ目につきましては、「自分の会社、職業の社是、社訓、経営方針、取組み等を4つのテストに照らし合わせて共有しよう」です。

昨日、ラインでも案内をさせて頂きましたが、皆さんがこれまでの活動の中で取り組んで来られました思いや行動について、4つのテストに照らし合わせてみる機会として設定をさせて頂きました。これは、今年度の地区職業奉仕委員会の方針でもあります。今日のフォーラムが自分の活動を振り返る機会、また他の方の活動から何かを学ぶ機会になりますことを願っております。

また、時間に余裕がありますようでしたら、職業奉仕例会にて当社の災害時の活動を紹介させて頂きましたが、皆さんの会社で行っています防災への活動や、災害発生時を想定しました取組みなども情報共有をして頂いても良いかと思っております。どうかよろしくお願ひします。

また本日、事前にファシリテーター、記録係をお願いしております。各テーブルの皆さんにはスムーズな意見交換を行えますよう、二人へのご協力をよろしくお願ひします。また記録係の方には、お手数おかけしますが、会報掲載用原稿として記録した内容をまとめて頂いて、事

務局へ月曜までに提出をお願いします。それでは、よろしくお願ひします。

2番テーブル

藤倉康晴会員



フォーラムの開催経緯と議題設定

- 職場見学会は「なぜその場所なのか」「ロータリアンとして何を学べるのか」という目的意識を伴わなければただの感動に留まり無意味になり得ると指摘。当クラブの見学会はその点を踏まえた「レベルの高い職場見学例会」である。
- 鈴木委員長（職業奉仕委員会）より趣旨説明。議題は2点：

- 1) 今年度の職場見学例会（11月の朝日土木）および先週の職業奉仕例会の振り返り。
- 2) 自社・自身の社是・社訓・経営方針・取組みを「4つのテスト」に照らし合わせて共有。

議題1：職場見学会の振り返りと職業奉仕への接続。

- 異業種の参加者からも、普段入れない大規模治水工事現場（地下構造、コンクリート構築、足場など）の見学は貴重な経験との声が多数。現場では安全配慮（ヘルメット着用・誘導・監視）と清潔保持が徹底され、工事現場特有の泥汚れや雑然さが抑えられていたという具体的印象が共有された。
- 日本の土木現場の特徴として、車両のタイヤ洗浄や周辺道路の汚れ防止に細心の注意が払われる点が挙げられた。言及された設備・運用として「高圧洗浄機」「工場設備におけるプール」「タイヤの洗浄機（新設）」がある。出口での清掃・洗浄徹底は、海外（欧州など）の現場で泥だらけが散見される状況と対比され、日本特有の安全・清潔意識として評価された。
- 近隣住民への配慮（向こう三軒両隣への挨拶・迷惑最小化）も「職業奉仕」に通じる日常的実践とみなされた。土木事業はそもそも公共的性格が強く、災害対策・治水の効果が地域に還元されるという観点で奉仕との接点が明確だと整理がなされた。

議題2：職業を通じた奉仕の本質と「役に立つ」という価値観

- 「ロータリアンの視点で振り返る」とは、端的に「人のために何が出来るか」を問うことだ。

職業奉仕は、職業活動そのものを通じて社会に機能を提供することで成立するという理解が示され、露出度の高い社会奉仕よりも、職業遂行の倫理性・公共性を重視する意見があった。

- 「どんな仕事も対価を得て行こう」という前提が、奉仕イメージとの心理的距離を生む一方、「4つのテスト」に照らして自分の職業が奉仕になっているかを点検することは、職業の新旧・業種を問わず有益なのではないか。
- 「役に立つ」という感覚が、職業奉仕の最も近い実感的キーワードとして繰り返し強調された。対価と同時に「ありがとう」と言ってもらえる仕事のあり方は、感謝・感動を伴う価値供与であり、職務の倫理と公共性を高める。
- 医療・介護・法律・宗教など、歴史的に「聖職」と呼ばれてきた領域は「人を助けること」を核に持ち、場合によっては金銭受領を二の次にする態度が基層にあったとの知見が共有された。こうした「助けること自体が目的」の職業観は、現代の多様な職種にも参照可能な倫理軸、ロータリーの精神に通ずるのではとの意見があった。
- 障害者支援の現場では、仕事を通じて「役に立つ存在だと実感できること」が本人の社会適応と自尊感情に直結するため、その機会を作ること自体が大切な奉仕である。

労働観の変化と「掃除」に見る奉仕精神の原点

- 町の美化活動（ゴミ拾いなど）は文化の成熟度の指標であり、公共空間の清潔保持は経済・文化に一定の余裕があるほど実現しやすいとの指摘があった。一方、経済的縮小で公共サービスが削減されると、街の清潔が損なわれる可能性がある。
- 企業内の掃除をめぐる労働観の変化が議論された。かつては職場環境の維持向上として「30分早く来て事務所や周辺の掃除・除草を行う」ことが日常的に実施されていたが、現在では労働基準法の厳格運用（1分単位の勤怠管理、残業代支払い義務）やタイパ・コスパ志向の高まりにより、「それは自分の仕事ではない」「外注すべき」という風潮が強まり、訴訟リスクも相まって自発的清掃が難しくなっている。
- 土木現場ではタイヤ洗浄・高圧洗浄機・洗浄用プール・新設のタイヤ洗浄機などの設備整備により、周辺への迷惑防止と安全・清潔維持が制度的に根付いている。
- AI・ロボットの普及による労働構造の変化も展望された。工場でのロボット運用は一般化しつつあるが、福祉領域のように人間の対人援助が中心の仕事は機械化が難しい。
- 障害者支援施設では、職員の勤務時間内に利用者へ掃除などの作業を教えながら行う手法がとられており、実践を通じた社会性の獲得を図

っている。学校教育では現在も生徒による掃除が継続している例があり、「掃除」は心を整え、社会性を育む奉仕のベースであるとの意義付けが共有された。「まず掃除ができること」が次の学びや仕事に移るための基盤であり、見た目の清潔さは心の清明さにもつながる。

3番テーブル

猪股ソノ子会員



メンバー：神谷会長、飯野国際奉仕委員長(ファシリテーター)、猪股会員(記録係)

辻会計、山本会員、山下会員、二橋会員

① について

- 朝倉川の放水を経験したので今回の体験は興味深かった
- 川の流れはあの仕組みで本当に変わるのか？
- 出口側のアパートは放出の際、無事なのか心配に思った
- お金を扱う仕事は目に見えないので、モノづくりと同様に工場見学や 工事現場は可視化され大変良い
- 職業奉仕を自分に置き換え、どこまでできているのか
 - ↳ 小さな親切を他人へ、自分でかみ砕き自分のできる事をやる
 - 見たものの中から吸収できるものを見つける、みんなの為になることが一番大切
- 水害は地域の人でないと実感できない、現場を見学でき良かった
- 家族も一緒（子ども）も一緒に見学できると良い体験になる
- 中学生の職場体験を実施しているが、社員にも良い緊張感がはしり実際にその時の学生が一人、就職につながった
- 現場の方は大変な命がけの仕事だなと思った。ありがとうございます

② について

- 社是を社員の目の前にかざしたり、毎年アップデートした手帳を全社員に配布している
- 真実を話せない会社（人も含め）は、不正請求など必ず悪いことをしている可能性は高い

時間となり以上です

4 番テーブル

福井 淳会員



テーマ 「ロータリアンの視点で振り返る」

①今年度の職場見学例会、職業奉仕例会で紹介しました朝日土木興業の取り組みや職業奉仕への考え方について感じた事を共有しよう。

三浦会員

前回の職場見学例会には参加できず。経営理念を 4 つのテストに当てはめると色々なところに当てはまる。4 つのテストのどこに結びつくのかを考え、理念をブラッシュアップするのを感じた。好意と友情を深めるか?については、ES (従業員満足度) の観点で社員同士の結びつきやコミュニケーションがよくなる。一見結び付かないものも、さまざまな観点から見ると紐づくものがある。

山口会員

職場見学例会には参加出来なかった。

村松会員

職場見学例会に参加
見学した現場が自宅の近所だが、なんの工事をするのか分からなかった。
なんの工事をどんな目的で行われているかが分かった。地域住民の安全のために大掛かりな工事だと理解できただけでも自分にとっては価値のある職場見学例会だった。

高井会員

職場見学例会には参加出来なかった。
工事している場所が決壊することを知っていたので、地元の防災の意味を知れた。職業で地域の為になれたら良いなと感じた。自分のところでもそれに照らし合わせて考えたい。

杉田会員

職場見学例会に参加。
普段見る事のない工事現場を見れた。
なんのための工事かがわかり、色々と理解できた良い機会だった。
職場見学会の意味は、どう職業奉仕をロータリアンとしてどう振り返られるかが重要。
工事現場を見て、知れた。だけではなく、その次に工事の内容を公にする企業努力も職業奉仕につながる。と感じられた。

職業奉仕とは単に職業をもって奉仕とするのではなく、自分の仕事を通じ地域社会にどんな価値を与えられるのかを考え続ける事が必要。

福井会員

職場見学例会には参加出来なかった。
今まで職業と奉仕、地域に貢献できているのか?について、意識して考えてこなかった。言葉において結び付かなかった。
ロータリアンになったからは、そこが結びつくように意識して活動し地域貢献の一翼になりたい。

牧会員 (ファシリテーター)

朝日土木工業は現場整理や従業員・近隣への配慮が徹底していると感じた。
四つのテストの中の「みんなの為になるか」を深掘りしていくとステークホルダー (利害関係者) 資本主義の視点が共通している日本の精神性における経営は利益追求だけでなく、すべての関わる人への配慮をしながら進めていく考え方の方が日本人には合っているのかなと思う。
それが日本の強みだと思う。
グローバル資本主義に違和感を感じている。
温かい空間で安全第一、相互扶助による環境の中で仕事をし、会社が生き残っていく良いと思う。

②自分の会社、職業の社是、社訓、経営方針、取組み等を 4 つのテストに照らし合わせて共有しよう。

三浦会員

保険を販売して、事故の時に保険金を支払う公共性の高い社会インフラと言われる仕事。
保険金を販売し、保険金を支払うだけではなく、安心・安全を販売する
仕事として、お客様や地域の人々を支え、いざをお守りし支える事に主眼をおいている。

事故があった時に保険を払うのは当たり前だが、事故予防の提案が重要。
事故があった際はいち早く保険を払い、再建をお手伝い。
保険という仕事自体にロータリーの四つのテストすべてに通じている。
本当に正しい販売かどうか、それを間違えると曲がった保険金の支払いになる。それも 4 つのテストに全て該当してくる。

山口会員

倫理法人会の職場の教養という雑誌を利用して朝礼で倫理を学んでいる。

松村会員

3、4 年前、職業奉仕委員長をさせて頂いた。

当時は職業と奉仕というのが、頭の中で結び付かなかった。

辿り着いたのが、三方良しの精神。売り手良し、買い手良し、世間良し。

これをベースに仕事をやれば、4つのテストと同意義であって、その精神で会社運営していけば、この4つのテストに全てが変わっていくと実感。

委員長の時に元々あった社是を4つのテストに照らし合わせ、足りないものを補い、今の社是を作り、それを元に経営している。

今はそれを朝礼などで、みんなで唱和しながら位置確認しながら、自分の仕事をフィットしていく様なところに辿り着いた。

高井会員

仕事を進める中で、目的が勝ってはいけない。利益を出すというのが企業なので、稼ぐ手段を間違えるとえらい事になると常々論じている。

例えば、タクシーの運転手、タクシードライバーでもレベルやサービスが違う。本当に気持ちのいい運転手さんにはお釣りは良いよと言いたくなるが、ダメな運転手さんにはお釣り寄越せって言いたくなる。これがサービスの違い。

きっと、うちの営業マンも全然違うんだろうな。これが会社の教育の中で働く人の差はあるんだけど、タクシーの運転手に例えると分かりやすく、タクシーの運転手さんの仕事を通じて、サービスと奉仕が勉強できた。その差の良い方を共有し、奉仕に結びつけたい。それを共有したい。

杉田会員

10周年の時に4つのテストの字の入った額を記念品として配られた。

会社の入り口に掲示して社員教育に役だてている。うちの仕事はものづくりなので、人の手を使って1つの物を仕上げる時に、その人の関わり方によって、物の品質がどんどん変わってってしまう。

それぞれ本人が本当にそれで良いのか考えて仕事をしてくださいね。

として、これを使っています。

受注金額はなんとでもなるが、自分だけが儲かる事を考えず、人は騙さず、偽りで物を作ってはだめだとして、今年70年を迎える。

福井会員

テレビ番組を作ったり、CMを作ったりする中で、本当にこれに意味があるのだろうか？と悩みながらやっている。

少しでも良いものを作ろう。何かを伝えたいんだ。という思いを持ってやることが意味なんと思う。この心を忘れたら、単に仕事をしているだけで、それは職業

奉仕ではなくなるんだと思う。

障がい者就労支援B型事業所も経営していますが、B型事業所に通う障がい者が月に稼ぐお金は全国平均1万5千円くらい。これは一般常識的にあり得ない。

ちゃんと働いて、常識的に稼いで、その仕事が生き甲斐になって自立していく…という様になればと思います。

その思いも4つのテストに当てはまると感じています。

牧会員（ファシリテーター）

不動産賃貸の会社をしています。

現在、夫婦2人で仕事をしているので、あえて社是、社訓を設けない。

たくさんの社員を抱えているなら文字化する必要はあるが、家族だけでやっているの、「他者を大事にしようね」を合言葉でやっている。

妻の方がロータリークラブとの関わりが長く、ロータリーに関する考え方は妻の方が自然体として受け止めている。

だから、お互いに良いところ活かし合い、高めて行こう。周りの人を大切にできたらいいなと考えている。賃料問題など、お客さま目線で災害時に賃料を1ヶ月分無料にしたり、古くなった物件に関しては家賃値下げを実施。コロナの時も家賃無料などの配慮をした。心ある経営をこのまま続けていきたい。

5番テーブル

高瀬啓輔会員



参加者：福沢会員、伊藤眞芳会員、鬼頭会員、石原会員、高瀬会員、加藤千映子会員

ファシリテーター：伊藤眞芳会員

記録係：高瀬会員

①今年度の職場見学例会、職業奉仕例会で紹介しました朝日土木興業の取り組みや職業奉仕への考え方について感じたことを共有しよう。

定款第5条には「ロータリーの目的は奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」とある。つまり「奉仕の理念」はあるが、「職業奉仕の理念」はない。ただし職業奉仕の理念はないが職業奉仕の意義はある。意義とは何かといえば第6条に「あらゆる職業に携わるの中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである」と

ある。今回の取り組みもまずはその大前提を踏まえたうえで勉強していくことが大切である。

朝日土木興業の取り組みとしては災害時などの危機管理をきっちりされており、それを参考に各会員の意見を聞いたところ、それぞれの分野で奉仕の取り組みが自然と行われていることがわかった。

奉仕の理念とは何か…決議 23-34にあるように「利己と利他の調和を図る人生の哲学」つまり簡単に言えば「思いやり」であり、打算の世界と愛情の世界を調和していくように努力していくことが大切である。

②自分の会社、職業の社是、社訓、経営方針、取組み等を4つのテストにてらし合わせて共有しよう。

社是、社訓はないが四つのテストを参考に経営理念に反映させHPを変えるきっかけになったなど、各会員が改めて深く考える機会となった。

それぞれの社是、社訓の文言は違っても四つのテストに共通する部分があるし、四つのテストを無理に当てはめなくても、健全に事業をしていけば自然と行っている物でもある。

又、会社がロータリーに入るのではなく人が入ってくるものなので、自分自身が勉強し社員に伝える流れが大切だとの意見もあった。

四つのテストの冒頭には必ず「言行はこれに照らしてから」がある。これは言うこととやることをよく考えて行いましょうということであり、奉仕の理念をしっかりと学ばないと四つのテストもうまく使えない。ロータリーの歴史や原理を追及し勉強していくことでより良いクラブになると意見があった。

記録係としての感想:開始5分で脳みそから煙が出ました。しかし大変勉強になる内容の濃い時間を過ごすことができました。

6番テーブル

札幌聖巳会員



ファシリテーター：宮川直樹会員

書記：札幌聖巳会員

メンバー

今川明彦会員、岡本久永会員、太田和彦会員、中村彰宏会員、加藤ゆり子会員、宮川直樹会員、札幌聖巳会員

①職場例会朝日土木興業さんの取組家職場奉仕の考えについて

太田会員

知らない目に見えないところで、あれほどの大きなプロジェクトが行われていることすごいことと思った。皆さん危険を伴いながら長い完成までの間すごい仕事をされていると思った。自身も下地に住んでいるので、浸水被害などの対策を見えないところでのお仕事は本当に素晴らしい奉仕と感じた。

加藤会員

全く違う分野の仕事なので、私たちの知らないところを見学させていただき、知らないところで、日々災害に対するインフラ整備や、いろいろと考えられて作られてくことを知り勉強になった。

今川会員

職業奉仕にあたるのは、災害が起こる前に防止する対策を行って災害が起こらないように事業されているところ、また徹底的に実施されていることはまさに職業奉仕と感じた。

あれほどの鉄筋の太さを見たことが無い。流石海外と違う。

岡本会員

話は聞いていたが初めて見て知り立派な施設が出来たなどと思った。一度実際に水量が増えた時に流れていく効果を見てみたい。朝日土木興業さんや青山建設さんがされている仕事は地域のための職場奉仕だと思う。

札幌会員

周辺エリアの大規模な浸水災害を防ぐため、地域の人命を始め住居や道路、鉄道に至るまでの大変重要な、まさに地域社会を守るための事業をされていると感じた。我々の住宅建築では地下を掘っても5M程度まで、あれほどのスケールで、特に流入側の掘削工事では切梁と腹起しの土止めと水との闘いで、危険と向かいながらも地域社会のために、朝日土木興業さんや青山建設さんが尽力されていることに感動しました。

また、朝日土木興業さんの取り組みについて、災害が起きた際の出勤要請に応えながらも「自身も被災」している中で、限られた人員で対応など、経験から応援ネットワークが課題と、地域社会に対しても検討が必要と呼びかけていることについて、私も緊急な検討事項と感じた。活断層の中央構造線の真上にある豊橋で、災害が起き近隣都市との連絡網や災害活動拠点の整備などが急務と感じる。また時の南海トラフ地震の発生確率が60~90%とされる中で、その海溝型地震が高い建物に影響が大きいことから、そろそろこのホテルの最上階での例会開催も考え直した方がいいと思います。

中村会員

柳生川が15年前に氾濫したことから、その対策として始めた事業であるかと思いますが、以前に台風19号の雨台風の際も、自身が佐藤町の団地に住んでいて、柳生川もすれすれまで満水となり、消防団として呼び出され



たこともあり、梅田川の水も法面を超えただけだったが、堤防が崩壊したら大変であったと思う。なので、そういうことの対策として、税金を使うべき。我々が知らないところで苦勞されていることを知り、自分の利益だけを考えず、活動されている方がいるということが分かった。

宮川会員

同じく、知らないところで地域のために行われている活動を知ったが、世の中にはもっと同じような活動が行われていると思う。これを知ることができたのも、このロータリーの活動の中で職業奉仕について知る、とても良い機会となりました。

②自社の方針と4つのテストに照らし合した場合

加藤会員

「真実かどうか」

→幸せを贈るフードサービス

「みんなに公平か」

→誰かを優先することなく、全てのお客様へ値段は勿論、真心こめた提供

「みんなのためになるかどうか」

→社員もお客様と出会え、また収入も生まれる

「行為と友情を深めるか」

→お客様と仲良く親しくなり、行為を深める。地域にも愛されるお店

今川会員

方針は「ユーザーさん第一主義」で、それに対し1、確実な作業。2、真心の作業が基本。

「真実かどうか」

→「ユーザーさん第一主義」1、確実な作業。

「みんなに公平か」

→1、確実な作業。2、真心の作業

「行為と友情を深めるか」

→2、真心の作業

「みんなのためになるかどうか」

→「ユーザーさん第一主義」

スペースリゲルエアーの社名は、スペースは宇宙、リゲルはオリオン座で2番目に明るい恒星。一歩ずつ階段を昇りながら成長を遂げようという意味。

岡本会員

曹洞宗 永平寺と総持寺の二つ本山であり、仏教の教えで4つテストに結び付く。

4つのたい(諦)：諦とは真理(悟り)という意味

1、苦諦(くたい)：人生は苦であるという真理

2、集諦(じったい)：上記の(苦諦)の原因となる真理

3、滅諦(めったい)：苦の滅した状態。

4、道諦(どうたい)：苦を滅する方法の真理

この道諦の方法として、「八正道(はっしょうどう)」という、苦を滅するため8つの実践方法を説いていて、4つのテストにも結び付くところがある

1、正見(しょうけん)

…正しい見解、正しい信仰

2、正思惟(しょうしゆい)

…正しい考え方、正しい決意・意志

3、正語(しょうご)

…正しい言語行為嘘をついたり、悪口をいわない。

4、正業(しょうごう)

…正しい行い立ち居振る舞い、社会奉仕など

5、正命(しょうみょう)

…正しい生活方法 規則正しく生活すること。

6、正精進(しょうしょうじん)

…正しい努力 悪は絶対に起こさない、起こった悪はなくす、善は起こし、起こっている善は更に増大させるように努力する。

7、正念(しょうねん)

…正しい意識、正しい注意 常に自分を見失うことなく意識すること。

8、正定(しょうじょう)

…正しい精神統一 身体と呼吸と心を落ち着かせること

次に、道元禅師のお言葉で、4つの言葉がある。4つのテストに繋がる

1、布施(ふせ) 喜んで分け合うこと

→みんなに公平か

2、愛語(あいご) 思いやりの気持ちで話すこと

→行為と友情を深めるか

3、利行(りぎょう) 人の為になる事をする事

→みんなのためになるかどうか

4、同事(どうじ) 相手の気持ちを感じる事

→真実かどうか：

札木会員

当社住友林業グループの経営理念について、

「真実かどうか」

→公正、信用を重視し

「みんなに公平か」

→「自利利他公私一如」社会を利するという住友の事業精神に基づき

「行為と友情を深めるか」

→人と地球環境にやさしい「木」を活かし

「みんなのためになるかどうか」

→人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

中村会員

不動産の事業を行っているが、以前ロータリーの職業奉仕例会でも発表したが、不動産の事業を始めたのは、自身が生活するためであり、金もうけだけの為ではない。もちろんそこに皆さんへ公平に、信用があつての仕事をしている。

7番テーブル

後藤浩司会員



朝日土木興業の取り組みには、ロータリー的な考え方が自然に表れていると感じた。

公共工事は、市民や地域社会、広域の人々に大きな影響を与える仕事で公の視点で仕事をする事自体が、前提で公共工事の性質上「四つのテスト」は極めて当てはまりやすい。

問題が起きた場合は、早期にオープンにし、関係者と共有することが重要であり、公共工事では設計図通りに進まないことが多く、現場対応と誠実な判断が求められ、短期的な損失よりも、構造物が何十年も地域で使われることを重視すべきであるので、朝日土木興業の姿勢は、四つのテストと照らし合わせて腹落ちした。

公共建築は学びが非常に多く、設計者として良い経験になり、民間住宅は施主ごとに目的や条件が異なり、また別の難しさがあることから、ロータリー入会後に「四つのテスト」を知り、非常に優れた理念だと感じた。

過去の職場見学例会・職業奉仕についての意見として、職業奉仕の考え方は、商売の基本と一致しており、「三方よし」の精神は、四つのテストともに通じ、自社だけが利益を得ても、業界や社会全体が発展しなければ意味がない。

職業奉仕は企業経営そのものと深く結びついている、防災、青少年育成、安全など、地域社会への貢献が重要で、ロータリー活動を通じて、地域との関わりを深め、企業とクラブ双方の価値を高めていくことを期待する。

テーマ②

四つのテストは、何かの場面で文章を見ると「自分はどうか」と立ち止まって考えさせられる存在であり、四つすべてを常に満たすことは難しいが、絶対に譲れない軸として意識している。また、「完全な公平」は難しいため、「不公平を生まない」ことを重視している。

会社の基本理念において、四つのテストと日本的経営理念は本質的に重なっていると再確認した。

四つのテストは仕事の根本理念そのもので、日常業務がそのまま四つのテストに照らして成立しているという実感している。

災害時の建物点検など、資格者としての社会的責任をボランティアで実践し特別な奉仕ではなく、日常業務そのものが職業奉仕になっている。

社内でも四つのテストを共有し、建築の根本にある考え方として伝えている。

不動産賃貸業の立場からの意見として賃貸業は四つのテストを当てはめにくい場面も多々あり、契約交渉では利害が対立した時、四つのテストよりも「三方よし」の考え方の方が実務に合う感覚ある。

自社の社是において、高度の企業性の発揮、全社一体、社業を通じて社会に奉仕をしており、創業者がロータリー活動に感化されて社是を策定したものであると感じた。

社是はロータリーの理念と極めて親和性が高いものであり、水溶性フィルムや防錆フィルムなど、社会課題に応える製品開発が職業奉仕につながり、また小さな市場を育てる姿勢も、職業奉仕と企業活動の一致と捉えている。

小規模・家族的経営の立場から、社是・社訓はなく、経営者の行動そのものが会社の方針とし、社員を家族のように考え、定年制度は設けず、本人の意思を尊重し楽しく働ける環境づくりを重視している。

社外に対しては経営者個人が四つのテストを意識して行動している。

★ニコボックス

神谷 馨・高橋哲也：職業奉仕フォーラムです。鬼頭ラーニング委員長、鈴木雅人職業奉仕委員長よろしくお願ひ。

宮川嘉隆：出席報告をさせて頂き。

鬼頭秀幸：挨拶をさせて頂き。

鈴木雅人：活発な意見交換をよろしくお願ひ。

今川明彦：第1回新春初打ち麻雀大会に参加して頂いた皆さんありがとうございました。

宇藤 信：久しぶりの麻雀大会で小四喜をあげり優勝しました。幹事の皆さんありがとうございました。

牧 岳大：たけの子クラブ2位でした。久々に皆様とマージャンで交流でき楽しかったです。

岡本久永・井上 穂・伊藤眞芳・杉田和俊・牧 岳大・浅井大介・今川明彦・飯野益通・太田和彦・酒井正樹・宮川嘉隆・宮川直樹・山下 孝・三浦時子・鈴木雅善・

福井 淳・札木聖巳：本日のフォーラム、ワイワイガヤガヤ意見交換しましょう。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝しています。

山下 孝：2/10に役員退任し、4月より東京にて再就職予定です。3/13の例会が最後となります。カウントダウンラスト5です。最後までよろしくお願ひ。ガンバレドラゴンズ！

加藤千映子：クリスマス会の写真を頂き。

山下 孝ニコボックス委員長

★幹事報告

・東三河分区親睦ゴルフ大会の案内が届いております。

★他クラブの例会変更

- 2月16日(月) 豊橋南RC 東三河分区IM
- 2月17日(火) 宝 飯RC 創立40周年記念式典
- 豊橋北RC 職場訪問例会
- 田原パRC 分区IM参加